**Yahoo**

【言語経験】

　例）C言語：研究と競技プログラミング：将棋AIの開発

　例）Java：個人開発：GUIアプリやAndroidアプリを作成する時に利用します。現在までに9点のアプリをリリースしました。

　例）Ruby：インターン：Ruby on Rails を利用したWebアプリケーション開発を行いました。

【データベース経験】

　例）SQL：研究、個人開発など：SQL文は暗記しています。

　例）MySQL：インターン：アプリで設計から運用。その他SQLite3やMongoDBの使用経験があります。

【OS経験】

　例）Linux：研究、競技プログラミング 　※

C言語：個人開発：ゲームボーイアドバンス上で動作するアプリケーション開発

C++：研究：研究で提案した手法をシミュレータで実装、Linuxコマンドの実装

Java：大学：ｋ近傍法などのクラスタリングの実装

Python：個人開発と競技プログラミング：画像認識を用いた講義の出席管理プログラム開発

JavaScript：個人開発：Vue.jsを使った偏差値，点数，平均点を用いたWebアプリケーション開発

Go言語：個人開発：JavaScript (Vue.js)で作成したWebアプリケーションのサーバーサイドの実装． 簡単なCUIで動くアプリケーションで，○☓ゲームの作成．高校名や偏差値などをWebスクレピングで取得するプロブラム．データベースを操作するプログラムなどを作成，GoogleAPIを用いたプログラム開発．

PostgreSQL：個人開発：Go言語からテーブルの作成やデータの挿入などに使用．基本的なSQL文は理解しています．

Heroku：個人開発：作成したWebアプリケーションへデプロイ

Docker：個人開発：簡単なDockerfile作成，コマンドの理解はしています．

【研究キーワード】：ITS、LTE、V2X通信

【研究内容】：将来、常時ネットワークに接続する車両が基地局と通信する際に、渋滞や交差点などの車両が多い場所では通信トラフィックが増大し、通信遅延やパケットロスが発生する。それによる、交通事故などが発生すると考えられるので、車両の走行状態によって通信を変化させる研究を行った。 車両の走行状態とは，車両がGPSやセンサを使い自身の車両情報（速度，経度，緯度等）を取得し，決定される状態のことを指す． シミュレーションはScenargieというものを使用した．提案した手法をアプリケーションとして実装を行い，車両の走行状態を考慮しない手法と比較をするためにパケット受信率，通信トラフィック量，通信遅延の項目で評価と考察をした．評価の結果，提案手法は車両から送信されるデータの削減を確認することが出来た．また，考察において，日本の平均車両密度を超えると，提案手法のみではデータの削減が不十分だということも示した．

【言語・ツール】：研究で使用したシミュレータがC++でアプリケーション層やネットワーク層の実装をすることが可能で，提案した手法を実装した．

模試などで提供される，自分の点数，偏差値，平均点を入力して，設定した偏差値を取るためには何点取ればよいのかと，設定した点数に対応した偏差値を表示してくれるWebアプリを作成しました． 作成した背景は，僕が塾でアルバイトとして働いている中で，偏差値についての質問も多く，教室長も懇談で偏差値のことで生徒の親から話しがあがるということを聞いていたので，それなら，点数や偏差値がわかるようなものがあれば便利だと感じたのが始まりです．今後，都道府県を選択すると表示された偏差値の高校名，コース，URLを表示する機能を実装します．

http://deviation-value.herokuapp.com/

ICカードをかざすことで，自宅の扉の鍵を自動で解錠し，扉を閉めると自動で施錠してくれる工作物を作りました．鍵穴へ差し込むことへの煩わしさと，鍵が無かった時の絶望感という問題を駅の改札のICでの通行の便利さで解決しようとしたのが背景です．プログラムの流れについて，扉に取り付けられた非接触ICカードリーダーにICカードをかざすと，各カードに割り振られているIDを読み取り，登録されているIDであれば，鍵が解錠されます．鍵が解錠されると超音波センサが開く扉と壁までの距離を計測し，閾値以下になると，扉が閉まっていると判断し，鍵を施錠します．

-